

平成19年4月12日現在

## 北國新聞社・平成19年度インターンシップ／受入概要

- 受入機関（部署） 北國新聞社（編集局）
- 所在地（勤務地） 〒920-0961 石川県金沢市香林坊2-5-1
- 実習内容 新聞記者業務（取材活動、記事出稿、紙面レイアウト等）
- 受入対象・人数 大学3年（年齢・性別・学部不問）／1～3人程度
- 受入期間 平成19年8月20日（月）より9月7日（金）  
上記期間内で5日間（月～金）
- 勤務時間 正午～午後8時（休憩含む）  
※業務の性質上拘束時間の範囲内で時差出勤もありうる。
- 実習手当等 支給なし
- 申し込み方法 下記まで、自己紹介書（履歴書）、志願理由書、希望期間を提出。  
調整のうえ折り返し詳細を連絡する。
- 申し込み締切 平成19年6月29日（金）
- 申込・問合せ先 北國新聞社総務局人事部インターンシップ担当  
〒920-0961 石川県金沢市香林坊2-5-1 北國新聞会館  
電話 076-260-3509／Fax 076-260-3411  
E-mail／saiyou@hokkoku.co.jp

### ※参考＞北國新聞社について

1893(明治26)年8月5日創刊。自由民権運動華やかな当時、言論を党利党略の道具としてきた政論新聞が大多数の中で、北國新聞は公正、公平の立場を宣言し、北陸の言論界に近代ジャーナリズムの幕開けを告げました。明治から大正、昭和、平成と世の中は移り変わりましたが、いまま創刊の理想は変わらず「北陸の代表紙」として、常に世界、日本の現代史を映す窓となりながら、地域に暮らす人々と哀歓を共にしてきました。

1979(昭和54)年からは新聞業界内でいち早く、コンピューターによる新聞制作に取り組み、1981(昭和56)年には国産初の全ページ電算編集システム「ヘリオス」を稼働させ、早く、正確で美しい新聞を読者に届けています。1991(平成3)年には第10代社長に飛田秀一が就任、第2の創業期として新聞を中心とした総合情報産業の基盤確立に努め、この年、金沢市香林坊2丁目に21階建ての本社社屋「北國新聞会館」、翌1992(平成4)年には7階建ての富山本社社屋「富山新聞会館」が完成しました。また、1997(平成9)年3月より白山市にてコンピューターの完全制御による新印刷工場の「白山別館」が本格稼働を開始。2006(平成18)年3月からは最新型輪転機の増設により、全国初の最大48ページ、40個面カラー印刷体制を確立しました。

2006(平成18)年12月の発行部数は、富山新聞を含め朝刊34万2,000部を超え、夕刊約9万部となっています。石川県内の朝刊普及率は7割を超えています。